

# 2019年度事業計画

## 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

### I. 基本方針

今年度は、スペシャルオリンピックス日本(SON)の現行ビジョンの最終年であるとともに SON 創立 25 周年を迎える。ビジョンの理念に基づく業務運営を行うとともに、ユニファイド・スポーツの普及・拡大を踏まえた事業運営を以下の通り実施する。

#### 【2019 年に向けた SON のミッション、ビジョン、ゴール】

##### <ミッション>

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

##### <ビジョン>

スペシャルオリンピックスは、我が国における障害者スポーツ推進の一翼を担うために他の団体とも密に連携し、また、各地区組織に根付いた全国的な運動となることを目指す。

##### <ゴール>

- 組織基盤の構築：  
～ビジョン体系の共有、SON 全体の組織としての能力強化、SO 活動を地区に根付かせる
- リソース獲得のための対外アプローチ強化：  
～認知・理解度の向上、資金調達、ボランティア基盤の強化
- 活動の質的向上と量的拡大：  
～スポーツプログラムの充実、アスリート数の増加

### II. 競技会開催事業

#### 1. 2019 年第 1 回全国ユニファイドバスケットボール大会 開催

知的障害がある人(アスリート)と知的障害がない人(パートナー)が同じチームで競技を行う「ユニファイドスポーツ」の競技会を開催し、参加するアスリート、パートナーが障害の有無を越え、達成感など様々な経験を共有できる機会を提供する。

開催期間：2019 年 10 月 12 日(土)～13 日(日)

10 月 12 日(土) 開会式、競技(予選:ディビジョニング)

10 月 13 日(日) 競技(決勝)/ 表彰式 / 閉会式

会場：大田区総合体育館 (メインアリーナ・サブアリーナ)

実施種目：ユニファイドスポーツ、ユニファイドスポーツ・プレイヤーデベロップメント、  
ユニファイドスポーツ・レクリエーション(マッチングゲーム)

大会規模：1,300 名：アスリート 240 名 パートナー 240 名 団長・コーチ 120 名  
大会役員・審判・ボランティア 350 名 ファミリー・応援団 350 名

2. 2020年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム並びに  
2022年スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム 開催準備

2020年大会開催に向け準備を行う。

2022年大会の開催に向け、主管地区の選考を行う。

### III. 国際大会への代表選手団の派遣事業

1. 2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ 派遣準備

参加するアスリートが充実したパフォーマンスを行えるよう、大会前から支援すると共に、大会期間中の長期間にわたる集団生活や異文化経験、国際交流を通して、参加者一人一人の潜在能力を开花させることを目指す。また、各競技におけるルールの解釈や競技会運営方法についての情報を収集し、国内での競技会開催や競技普及に活用する。

開催地	:	アラブ首長国連邦(アブダビ)
派遣期間	:	2019年3月8日(金)～3月21日(木) ホストタウンプログラム : 3月8日(金)～3月11日(月) 開会式 : 3月14日(木) / 閉会式 : 3月21日(木)
結団式	:	2019年3月7日(木)
参加者	:	170ヶ国・地域 アスリート7,000名、ファミリー5,000名、ボランティア20,000名、 メディア2,000名、ゲスト4,000名
日本選手団	:	101名 アスリート69名、コーチ・役員32名
開催競技	:	夏季24競技

### IV. 知的障害者の地域スポーツ活動振興の拠点となる地区組織等への支援事業

1. 地区連絡協議会、全国事務局長会議

地区連絡協議会および全国事務局長会議等を通じて、活動指針等の共有と共に全国的なネットワークを図り、活動従事者のモチベーションを高める。

2. 地区組織の認定及び更新、地区組織強化支援

SO活動を全国に根付かせ、全地区組織の基盤強化につながるための支援、事業を実施する。

3. 地区組織自己評価基準の策定および運用

地区のガバナンス、活動の進捗度を自己評価基準表を用いて顕在化させ、達成度に応じた評価と支援を行う。

#### 4. 地区委員会およびブロック会議の開催

ブロック代表者が出席する地区委員会を定期開催、また、ブロック会議を対面形式にて半年に1回開催するなどして、国内SO組織間のコミュニケーションを図り、活動の推進力を高める。

#### 5. 助成

- ・ 地区競技会推進支援制度 : SOブロック大会/ブロック競技会のみを対象に助成
- ・ 地域SO活動への特別助成 : 大会終了後、開催地での更なるSO活動の発展を支援するためのナショナルゲーム主管地区に対する助成(SON・新潟、SON 愛知)

### V. 知的障害者のスポーツ参加及び健康増進推進事業

知的障害のある本人やその保護者を対象に、生活の質を高めることや、社会参加を促進することを目的としたスポーツに限定しない多様なプログラムを提供する。

#### 1. ユニファイドスポーツ®

全国にユニファイドスポーツを普及することにより、知的障害者の競技パートナーを増やし、知的障害者がよりスポーツに親しみやすい環境を整備していく。

#### 2. ヘルシーアスリート

SOアスリートだけではなく、地域に住む知的障害のある人たちに対し、健診や生活習慣改善プログラムを提供する。

#### 3. アスリートリーダーの育成

スポーツ活動に加え、会議や研修等、リーダーシップを高める機会を提供し、SOアスリートのリーダーを育成する。

### VI. ボランティア、指導者、審判員等育成事業

#### 1. 指導者養成

指導者養成のための各種研修事業の実施により、ボランティアコーチの育成と既存トレーナーのレベル及びスキルアップを図り、トレーニングプログラムの質的向上や充実を目指す。

また、ユニファイドスポーツ®の指導者を育成するため、研修資料の整備を進める。

- ・ コーチクリニック: ボランティアコーチの育成 (約100回開催予定)
- ・ 認定コーチ研修会: 認定コーチのスキルアップを目的に開催する研修会(6ブロック開催予定)
- ・ スキルアップ研修会: 主にコーチング等を中心に専門講師を招聘し実施(6ブロック開催予定)

#### 2. ボランティア育成

日本スポーツボランティアネットワークが提供する研修会を開催し、スポーツボランティアリーダーを育成するための研修会を実施する。

- ・ スポーツボランティア研修会(1回開催予定)
- ・ スポーツボランティアリーダー研修会(1回開催予定)

## Ⅶ. 広報・啓発事業

### 1. 広報・啓発

TV、新聞等のマスメディアや WEB、SNS を用いて SO 認知の向上や SO 参加者とのコミュニケーションを図るための広報活動を行う。

- ・ 「スペシャルオリンピックス日本 2019 年第 1 回全国ユニファイドバスケットボール大会」「2019 年 SO 夏季世界大会・アブダビ」等大会を中心とした各種事業を通じた広報活動
- ・ 「ユニファイドスポーツ」をキーとした広報活動
- ・ SON ドリームサポーターを増やしサポーターや著名人を通じた広報活動
- ・ 支援企業と連携した広報活動
- ・ WEB サイトや映像等広報ツールの充実

### 2. 資金調達(寄付・マーケティング)

財政の安定的基盤を固められるよう企業、個人への資金調達活動を行う。

- ・ 新規法人獲得並びに既存法人寄付の継続維持
- ・ ユニファイドスポーツをはじめとした SO の魅力やリソースを活かした企業連携による資金調達
- ・ 支援企業と連携したマーケティング活動

### 3. 他団体との連携

- ・ ユニファイドスクール、ユースアクティベーション等の活動を通じ、学校や大学と連携し、若い世代の SO 活動への参加を促し、共生意識への醸成に寄与する。
- ・ 行政機関、各スポーツ団体、障害者団体、支援先等への理解促進及び連携を図る。
- ・ ユニファイドスポーツ®を推進するため競技団体等との連携を深める。

## Ⅷ. 調査研究事業

2019 年に 25 周年を迎える SON の周年事業の一環として、SO 活動の総括的な研究報告書の発行準備を進める。発行は 2020 年度を予定。

以上